

コロナウィルスの感染が収束しつつあるなか、中国コークス協会は山東省、山西省、河北省、河南省、及び内モンゴル等のコークス、タール加工・利用に重要な地域に対して生産企業の状況を調査した。

山東省と山西省の一部の企業は稼働率が平均 65%-70%で、河南省の大部分の企業、及び河北省旭陽集団、首鋼京唐西山焦化有限公司等は稼働率が 80%以上で、内モンゴル地域の企業は原料不足のため生産開始の企業は 1/3 強程度に留まっている。

中国コークス協会は企業が生産回復できない原因は主に以下の 4 点にあるとのことである。

- 1) 道路輸送で貨物を厳格に検査するため、物流が滞っており、原料の入荷、製品の出荷とも影響を受けている。
- 2) 炭鉱企業はまだ完全に生産回復されてない。とくに原料炭の供給が追い付かない。
- 3) 中国・モンゴルの国境が閉鎖されたため、モンゴルからの原料炭輸入がストップしている。
- 4) 北方地区の一部は北方地区の一部は暖房供給があるので、環境管理部門はコークス生産に対して特段に厳しい。

3 月下旬、石炭系ピッチの市場販売は低調気味であるが、価格は保たれており、コールタールは 2200~2500 元/トンである。但し、これはあくまでオファー価格で、成約価格は下回ると考えられる。含浸ピッチは参考価格として 6500~7200 元/トン、コーティング用ピッチも同様 17000 元/トンである。

下表が示したように、中国市場において含浸ピッチ、また人工黒鉛で電池負極材料を生産するときに必要なコーティングピッチは価格が安定しているが、それらの原料となるコールタールの価格は変動幅が大きい。

中国市場における石炭系タール、ピッチ価格動向			
年月	タール	含浸ピッチ	単位：元/トン
			コーティング用ピッチ
2019/6/13	3,500	6,500--7,200	17,000
2019/10/17	1,600-2,000	6,500--7,200	17,000
2019/12/5	3,000	6,500--7,200	17,000
2020/1/9	2,400-2,600	6,500--7,200	17,000
2020/2/5	2,400-2,600	6,500--7,200	17,000
2020/3/19	2,000-2,300	6,500--7,200	17,000
2020/3/26	2,200-2,500	6,500--7,200	17,000
2020/4/2	1,600-2,000	6,500--7,200	17,000

出典：iccsino.com, 炭素・原料市場の週間評価記事を整理、製表。

出典：中国煤炭市場網 2020 年 3 月 13 日、ICC 鑫權資訊等の情報により整理作成。